



2021年5月14日

各位

会社名 株式会社NexTone
代表者氏名 代表取締役CEO 阿南 雅浩
(コード番号：7094 東証マザーズ)
問い合わせ先 執行役員経営管理本部長 桃枝 宏之
(TEL:03-5766-8086)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

2021年3月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期個別業績と実績値との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前期実績値 (A) | 4,234 | 300 | 290 | 187 | 23円09銭 |
| 当期実績値 (B) | 6,025 | 523 | 523 | 366 | 39円59銭 |
| 増減額 (B-A) | 1,791 | 223 | 233 | 179 | - |
| 増減率 (%) | 42.3 | 74.3 | 80.3 | 95.7 | - |

(注) 当社は、2020年1月15日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行い、また、2021年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

売上高につきましては、著作権管理業務において、作品登録が順調に進み、管理楽曲数が増加したこと等により、著作権徴収額全体で前年同期比140%と過去最高徴収額を記録した他、デジタルコンテンツディストリビューション業務において、取扱原盤の増加に加え、音楽配信サービス事業者と連携したプロモーション施策の実施や、ストリーミング市場の伸長、動画投稿サービスにおける収益化業務の促進等が奏功し増収となりました。

また、キャスティング事業において、ライブビューイング・協賛コーディネート等の既存業務に加え、コロナ禍における新たなエンタテインメントサービスをサポートすべく、有観客・無観客ライブやドライブインコンサートにおける映像配信、生ライブ配信サービスにおける権利処理コンサルティングを開始したこと等が奏功し増収となりました。

以上の結果、売上高全体で大幅増収となりました。

利益につきましては、販管費において人件費やシステム投資の増加があったものの、売上高の大幅増収効果が奏功し、前期に比べ大幅増益となりました。

以上